

学校名	山本小学校		
ホームページURL	http://www.iidanet.or.jp/~yamasc	児童・生徒数	325名
(1) テーマ 題材名 「久米川調査隊'99」 ・久米川がきれいな川であるかどうか調べよう ・久米川の良さをみんなに伝えよう テーマの分類 ( ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください  学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他 ( ) 該当学年 5年		
(3) 活動のねらい 自分たちの学区を流れる久米川に心を寄せ、自らの課題を持って久米川に調べに行くことができる。 水質調査や水生動物調べなど個々の課題をもって活動し、自分なりの活動のまとめをすることができる。 パソコンを活用しながら、情報交換をしたり文章表現やレイアウトを工夫したりして、多くの人へメッセージを伝えることができる。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 課題 ・久米川に住む生き物を調べ、その種類によってきれいな川かどうか調べよう。 ・薬品による水質検査をして、川がきれいかどうか調べよう。 ・久米川にはどんなゴミがどのくらい捨ててあるのか調べよう。 ・久米川にホタルの住める環境はあるのだろうか。 ・久米川は、いくつの川が合流しているのだろうか。 ・久米川は、いつ頃から護岸をして今ようになったのだろうか。 学習方法 ア、学習場面の設定 イ、個々の課題の決定 ウ、調査活動 エ、調査結果をパソコンにまとめ、ホームページにする。(外にも発信) 学習形態 課題別グループで調査活動を行う。 時数(28時間)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・学習を進めるに当たり、校内の「総合的な学習」研究班で、課題設定のあり方や学習方法などについて検討しあう。 ・調査内容によって、地域の関係者や地方事務所に聞き調べに行く。 ・川が活動場所になるので、校長や専科の先生の協力を得て、各場所での安全管理を行う。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・題材の選定条件として、身近な地域素材で子どもが興味関心を持ちやすいもの、体験的問題解決的な活動ができるもの、地域の特色を生かせるものを考えた。 ・実際に川遊びを体験し、感じたことを基に個々の課題を考えさせた。(目的を明確に) ・調査活動が、地域を流れる川の良さを知りそれを広く伝えていこうとする学習に発展できるようにした。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) 教師...・子どもたちの活動の様子を見ながら、次時のあり方を考える。 児童...・調査の結果をまとめることを通して、活動の見返しをする。 ・調べた事実と結論がわかりやすくまとめてあるか、相互に評価しあう。			
(8) 成果と課題 成果 ・目的と方法が明確に持てると、意欲的自主的に調査活動ができる。 ・パソコンに工夫したまとめができ、外に発信して好評を得た。 課題 ・活動目的を明確に持たせられなかったり、結果を得にくい調査であったりすると、活動意欲を低下させ、追究も続かない。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題( -ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境  
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題